

2026年3月期 第2四半期 (中間期) 決算説明資料

2026年3月期第2四半期（中間期）
決算説明動画は
当社YouTubeチャンネルにて掲載しております。

動画URL : <https://youtu.be/tWJZdvd4C4c>



1. 2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算報告
2. 2026年3月期 通期見通し
3. トピックス



日本プラスト株式会社

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算報告

2. 2026年3月期 通期見通し

3. トピックス



日本プラスト株式会社

(1) 概要



(単位：百万円)

	2025年3月期 第2四半期（中間期）		2026年3月期 第2四半期（中間期）		対前年同期比	
					増減	伸率
売上高	60,319	100.0%	56,137	100.0%	△ 4,182	△ 6.9 %
売上原価	54,265	90.0%	50,686	90.3%	△ 3,579	△ 6.6 %
売上総利益	6,053	10.0%	5,450	9.7%	△ 602	△ 10.0 %
販売費及び一般管理費	4,528	7.5%	4,389	7.8%	△ 139	△ 3.1 %
営業利益	1,524	2.5%	1,060	1.9%	△ 463	△ 30.4 %
経常利益	1,306	2.2%	856	1.5%	△ 449	△ 34.4 %
親会社株主に帰属する 中間純利益	800	1.3%	1,122	2.0%	321	40.2 %
1株当たり中間純利益	42.28円		59.11円		—	—
1株当たり配当金	7.50円		10.00円		—	—
設備投資額	1,676		1,839		163	9.7%
減価償却費	2,500		2,211		△ 289	△ 11.6%
US \$ 換算レート	注1) 154.08円		注2) 147.47円		△ 6.61円	—

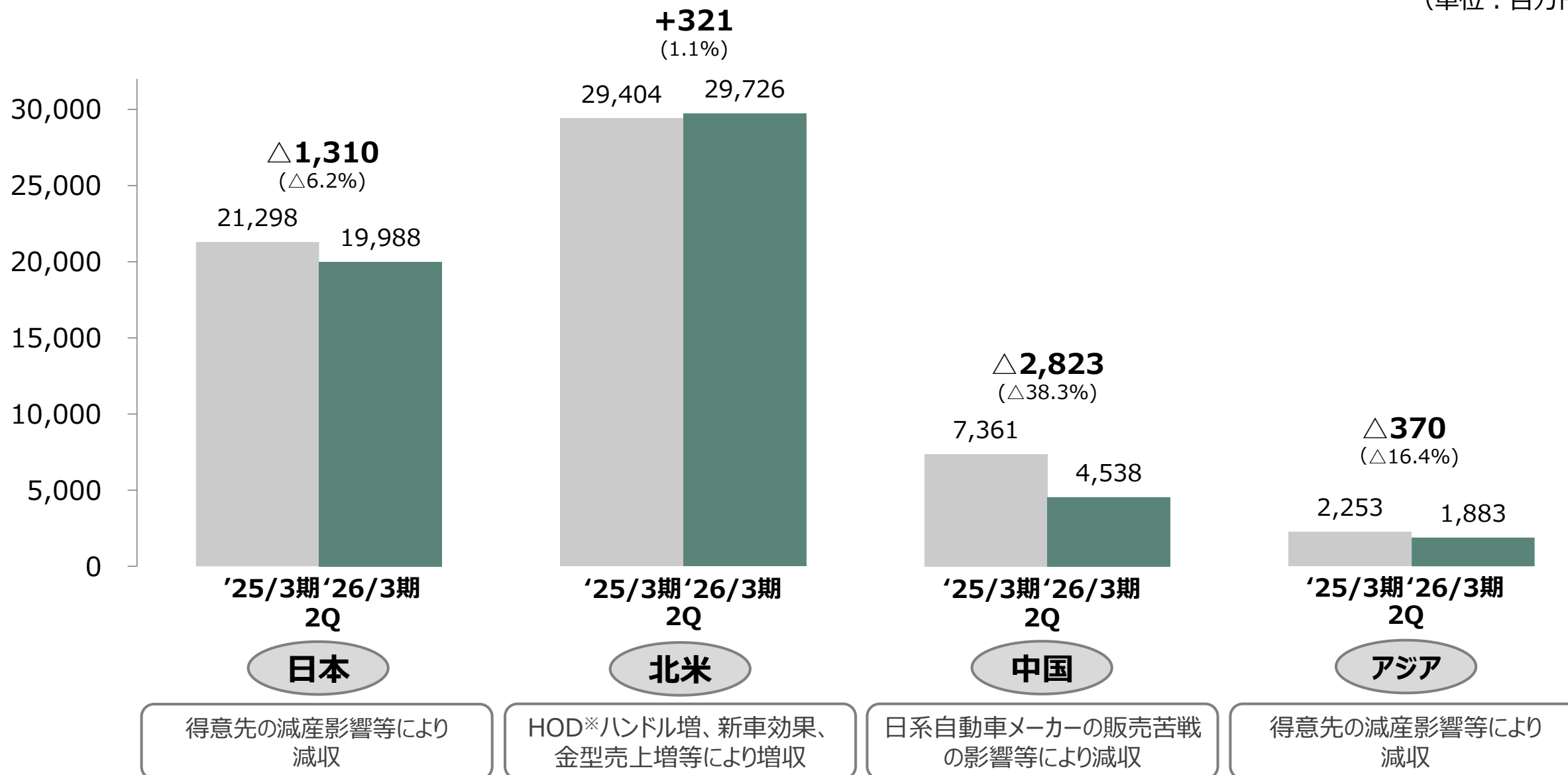
注1) 24年 1～6月平均レート

注2) 25年 1～6月平均レート

(2) セグメント情報 <地域別売上>



(単位：百万円)

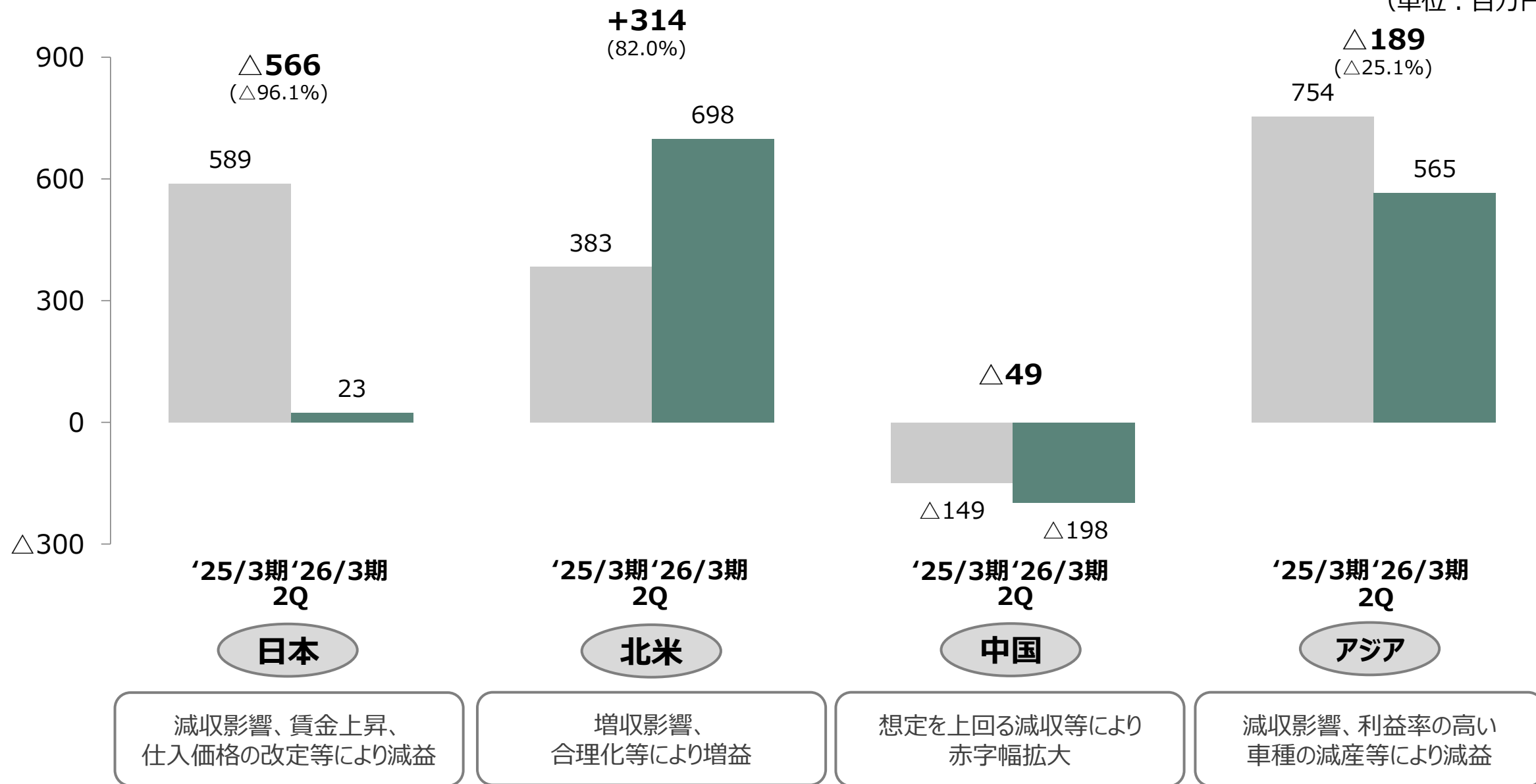


※HOD（ハンズ・オン・ディテクション）とは運転者がハンドルを把持しているか否かを検知する機能。それにより自動運転の切替が可能となる。

(2) セグメント情報 <地域別営業利益>



(単位：百万円)

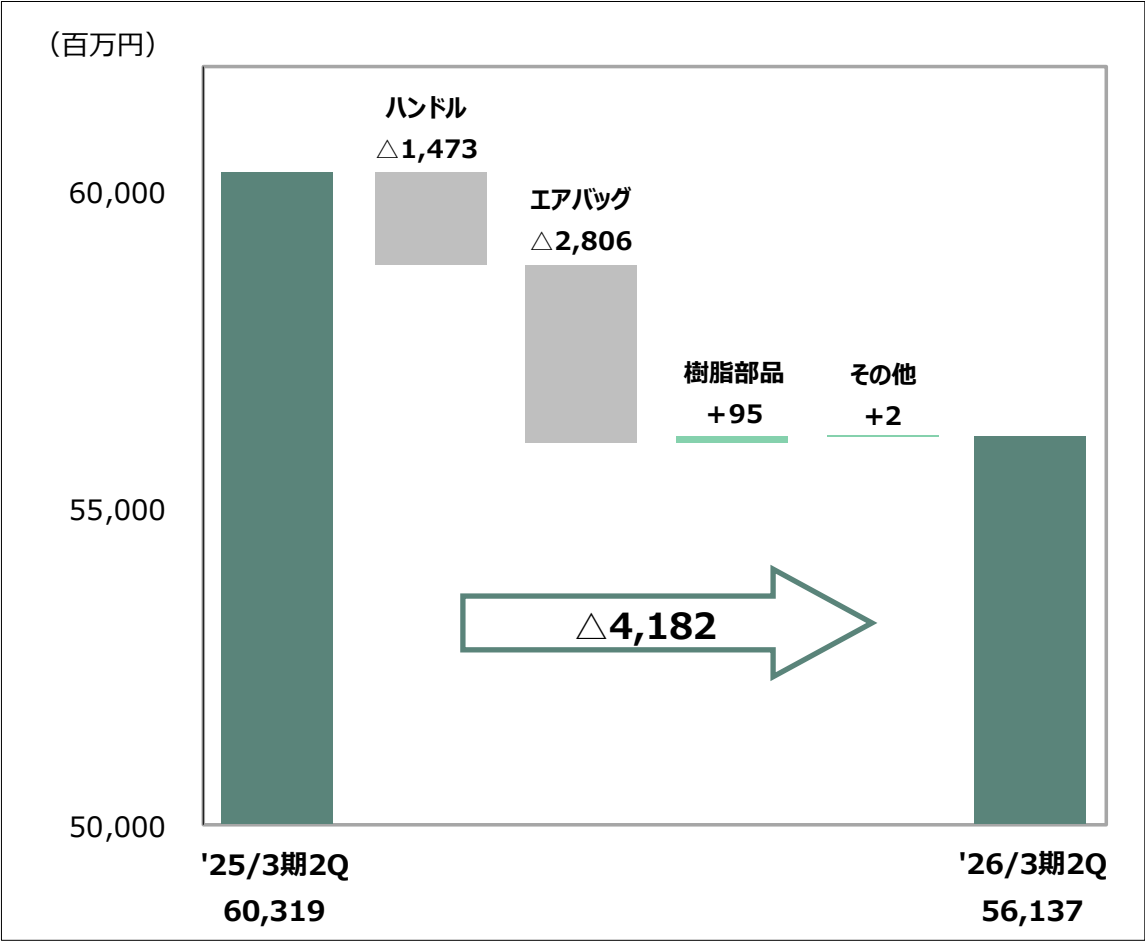


(3) 製品別売上



(単位：百万円)

	'25／3期 2Q	'26／3期 2Q	対前年同期比	
			増減	伸率
ハ ン ド ル	15,747 (26.1 %)	14,274 (25.4 %)	△1,473	△9.4 %
エ ア バ ッ グ	15,143 (25.1 %)	12,337 (22.0 %)	△2,806	△18.5 %
樹 脂 部 品	29,417 (48.8 %)	29,512 (52.6 %)	95	0.3 %
そ の 他	11 (0.0 %)	13 (0.0 %)	2	18.2 %
連 結 売 上 高	60,319	56,137	△4,182	△6.9 %



ハンドル

HODハンドル増加、新車効果はあるものの、減産影響等により減収

エアバッグ

減産影響等により減収

樹脂部品

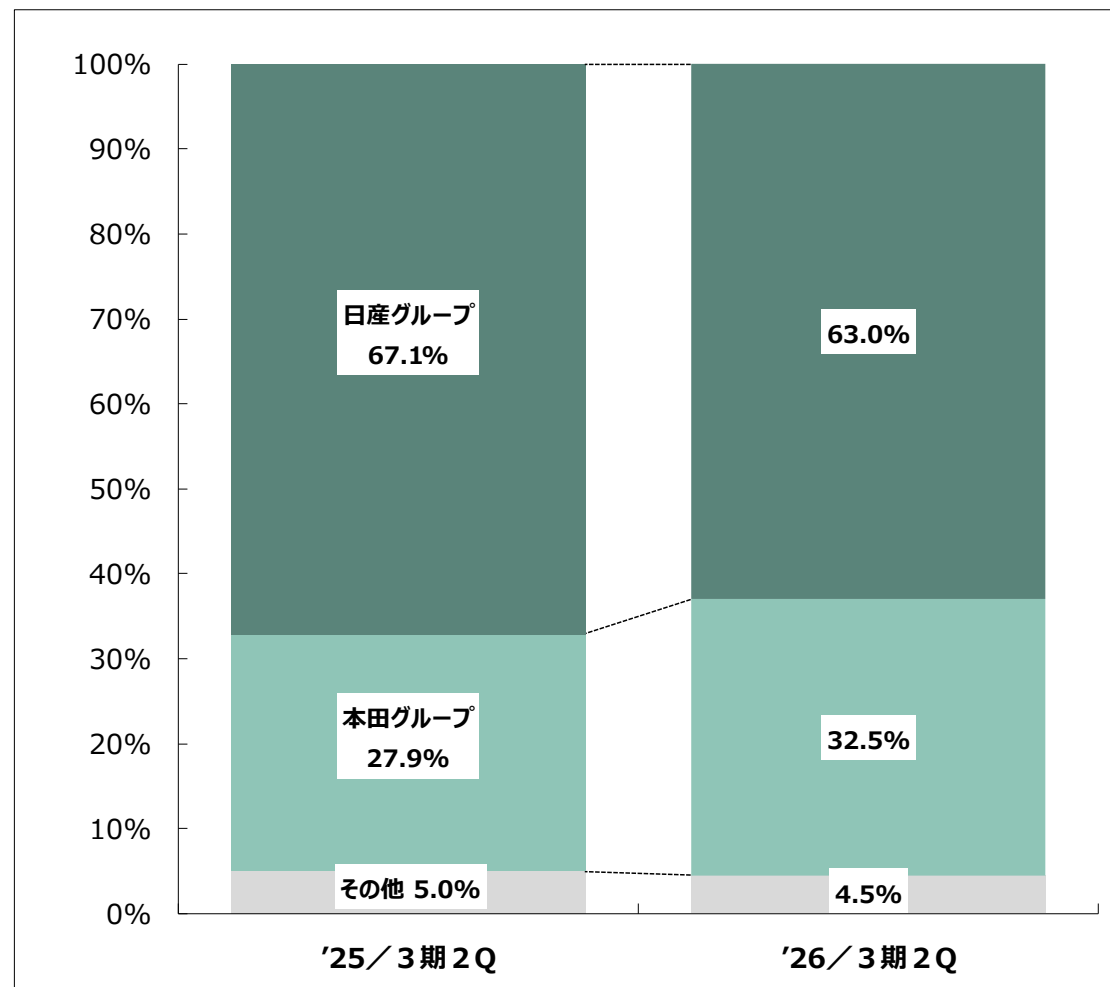
減産、為替換算の減収影響が新車効果、金型売上の増加等の増収影響で相殺され、前年同期並み

(4) 得意先別売上



(単位：百万円)

	'25／3期 2Q	'26／3期 2Q	対前年同期比	
			増減	伸率
日産グループ	40,480 (67.1 %)	35,391 (63.0 %)	△ 5,089	△ 12.6 %
本田グループ	16,839 (27.9 %)	18,218 (32.5 %)	1,379	8.2 %
その他	2,999 (5.0 %)	2,527 (4.5 %)	△ 472	△ 15.7 %
連結売上高	60,319	56,137	△ 4,182	△ 6.9 %

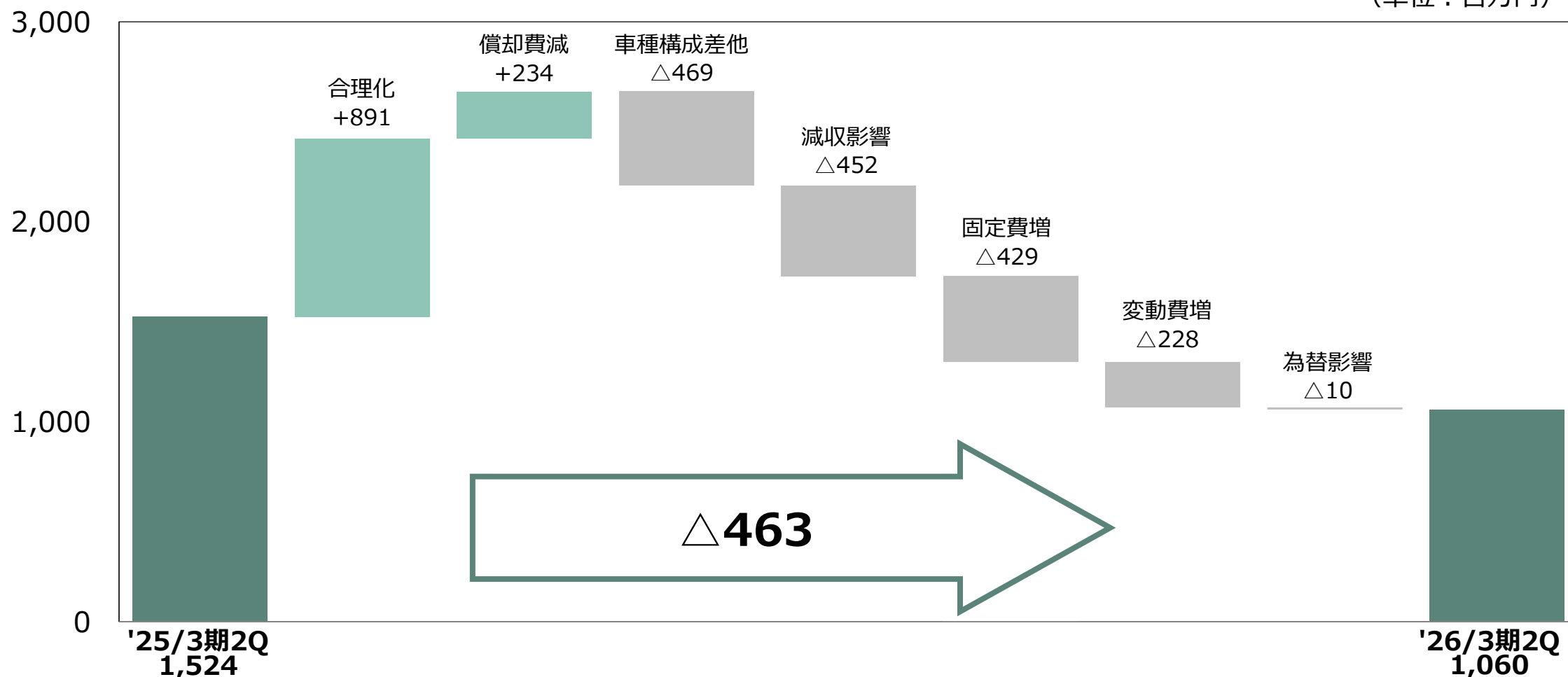


日産 HODハンドル増加、新車効果はあるものの、減産影響等により減収
 本田 新車効果、金型売上の増加等により増収
 その他 減産影響等により減収

(5) 営業利益増減説明



(単位：百万円)



※償却費は為替影響(+55)を除く金額となっています。

車種構成差、減収影響、固定費・変動費増加等のマイナス要因を、合理化等で打ち返すことができず減益

(6) B/S主要増減

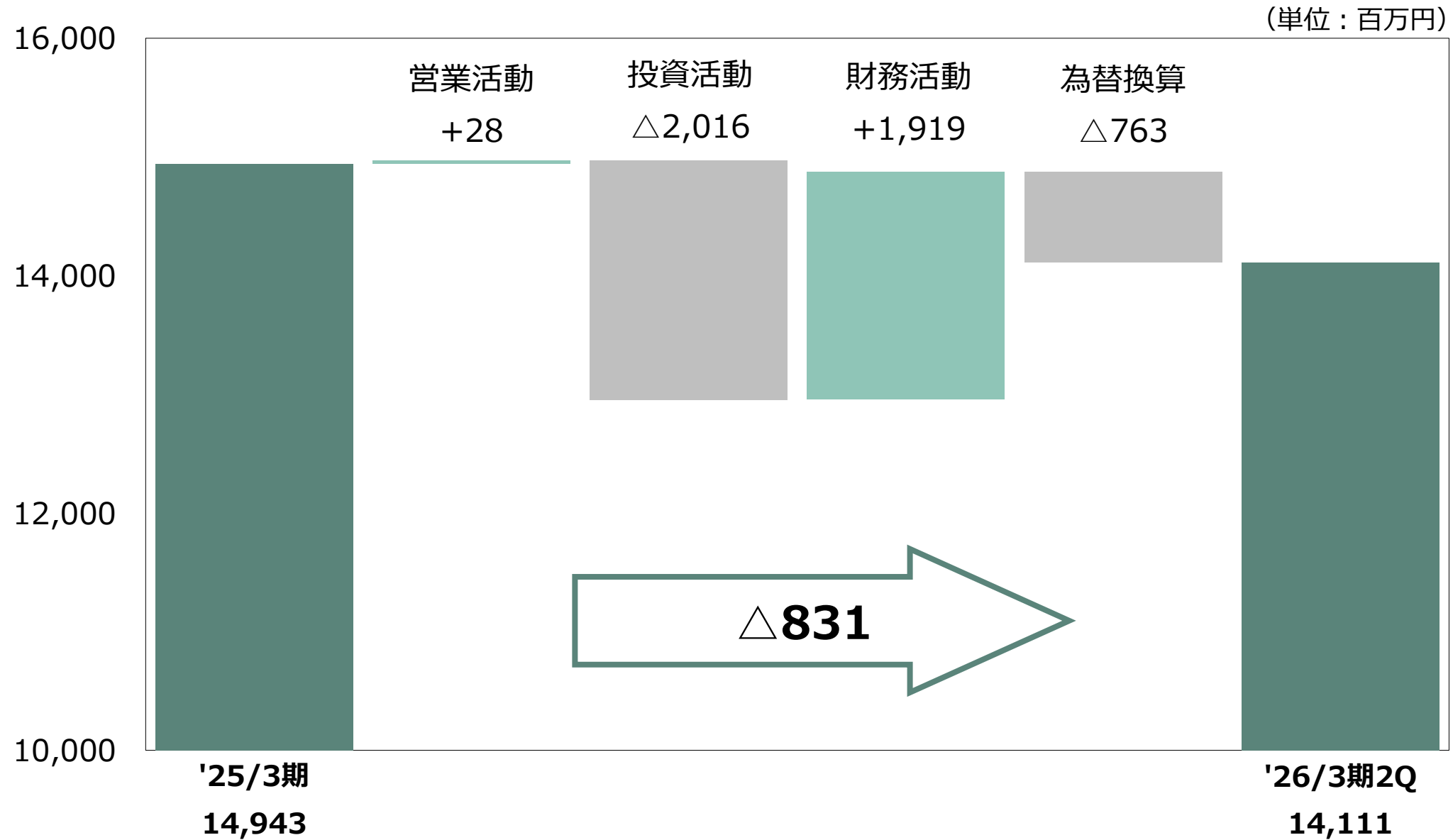


(単位：百万円)

	'25／3末	'25／9末	前年度末比	主要増減要因
流動資産	48,015	46,490	△ 1,525	・原材料及び貯蔵品 △1,212 ・現金及び預金 △831
固定資産	35,692	33,504	△ 2,188	・有形固定資産 △2,247
資産合計	83,707	79,994	△ 3,713	

	'25／3末	'25／9末	前年度末比	主要増減要因
流動負債	39,237	36,491	△ 2,745	・製品保証引当金 △1,739 ・支払手形及び買掛金 △1,278
固定負債	9,932	9,849	△ 82	・長期借入金 △51 ・役員株式給付引当金 △50
純資産 自己資本比率	34,538 41.3%	33,652 42.1%	△ 885 0.8%	・為替換算調整勘定 △2,161 ・利益剰余金 +976
負債純資産合計	83,707	79,994	△ 3,713	

(7) C/F増減



1. 2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算報告
2. 2026年3月期 通期見通し
3. トピックス



日本プラスト株式会社

(1) 概要



(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		増減	伸率
売上高	120,591	100.0%	113,000	100.0%	△ 7,591	△ 6.3 %
営業利益	2,772	2.3%	2,400	2.1%	△372	△ 13.4 %
経常利益	2,006	1.7%	1,600	1.4%	△406	△ 20.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	56	0.0%	1,300	1.2%	1,243	—
1株当たり当期純利益	2.97円		68.66円		—	—
1株当たり配当金	15.00円		20.00円		—	—

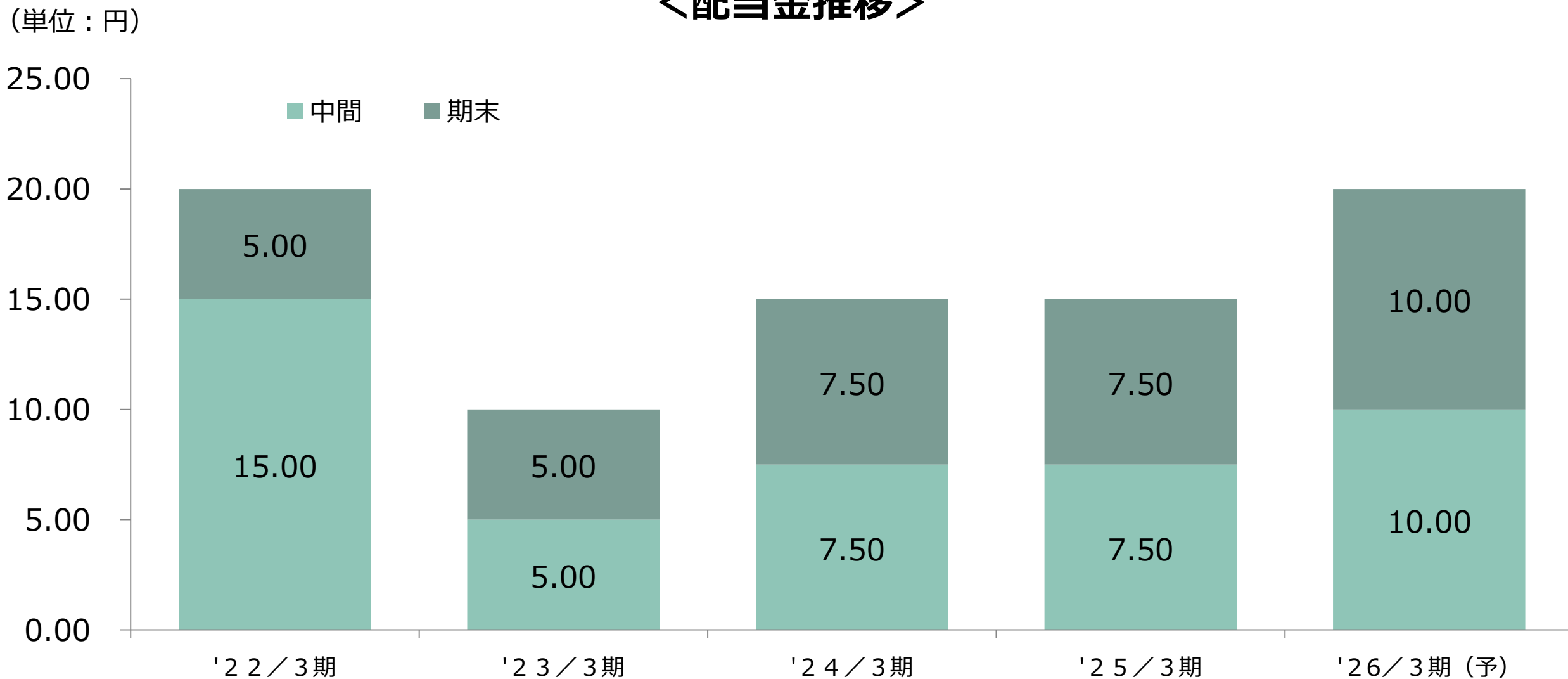
設備投資額	4,142	4,400	258	6.2 %
減価償却費	4,863	4,503	△ 360	△ 7.4 %

US \$ 換算レート	152.27円	145.00円	△ 7.27	—
-------------	---------	---------	--------	---

(2) 配当金



<配当金推移>



質問	回答
①米国の関税措置の影響について（具体的にどのような影響がでているのか）	アメリカ拠点を受ける米国の関税措置の影響は、メキシコ拠点からの部品輸入、日本からの金型輸入等。2Qからマイナス影響が本格的に出始めており、影響を最小限に抑えるため、適切な価格転嫁に加え部品の調達先を見直す等、さまざまな対策を講じていく。
②今後、得意先の動向や米国の関税措置の影響を受けて、生産体制に変化はあるか。	今後、当社の主要得意先では、世界で工場の閉鎖等が予定されており、当社にも大きな変化をもたらすと考えている。加えてトランプ関税の影響を受け、当社の主要得意先では日本で生産している車種の一部をアメリカ生産に切り替える、生産移管が予定・実施されている。このような状況を受け、得意先の動向にあわせて柔軟に対応していく。
③欧州大手半導体メーカーが、国際的な対立を背景に、中国工場からの製品輸出に一時的な制限を受けたと報道（半導体供給リスクが報道）されているが、影響はあるのか。	既に一部の自動車メーカーでは、この半導体不足により一時的な生産調整や生産停止が発生しており、当社製品の納入計画にも影響が出ている。輸出制限は一時的に緩和される見通しだが、供給の完全安定には時間を要するとみている。当社としては、得意先からの情報を収集する等、影響の詳細な調査を最優先で進めている。現時点では得意先の状況が流動的であり、業績への影響額を合理的に算定することは困難であるため、業績見通しの修正は行わない。
④EVや自動運転に関連した製品の受注状況	自動運転時のハンズオフ機能に適応したHODハンドルや電動化に対応したバッテリーカバー等は既に量産車に採用されている。HODハンドルは、グリップにタッチセンサーを備え、ドライバーがハンドルを握っているかどうかを正確に検知することができる。これは、自動運転レベル2で実現される「ハンズオフ機能」を安全に利用するために不可欠な技術であり、HODハンドルを採用する車種は年々増加傾向。

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算報告
2. 2026年3月期 通期見通し
3. トピックス

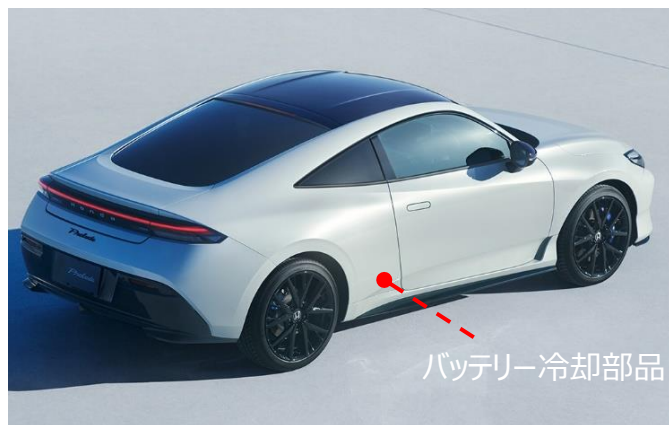
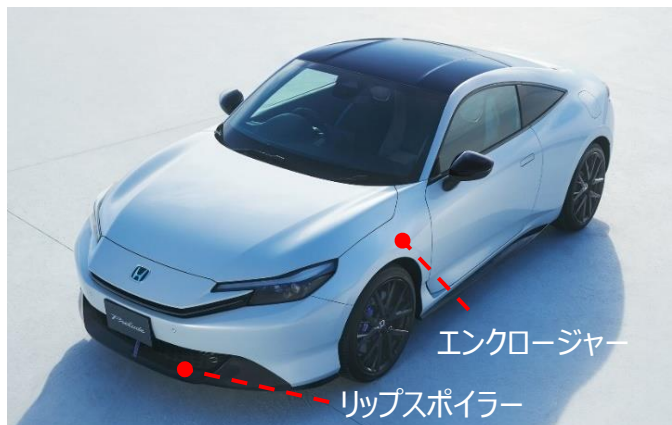


日本プラスト株式会社

ホンダ PRELUDE 2025年9月 日本発売

内外装樹脂部品、21部品新規採用

【エクステリア】



【当社が受注している部品】

新規採用

エクステリア部品(11部品)

- ・バッテリー冷却部品
- ・エンクロージャー
- ・リップスポイラー 他

インテリア部品(10部品)

- ・カバーセンターロワー
- ・ステイアッシーセンター
- ・ダクトインスト
- ・エアアウトレット ダクト
- ・センタースピーカー
- ・ガーニッシュサイドデフ
- ・フレームアッシーインスト 他

【インテリア】



ご視聴ありがとうございました。

◆決算説明に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/Y3iAXaW1dDcspAtz7>
(受付期限：2025年12月26日)



◆今後の運営の参考にさせていただきますので、よろしければアンケートにご協力ください。

※アンケートにご回答いただいた方、**先着50名に粗品をプレゼント**いたします。

アンケート入力画面：<https://forms.gle/b4Q9tX6Lt4byXrNS7>
(回答期限：2025年12月26日)



本資料に記載の将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

 **日本プラスト株式会社**